

トップメッセージ

平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第118期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）の株主通信をお届けするにあたり、当社の事業概況やその取組みおよび成果等につきまして、ご報告させていただきます。



代表取締役社長 吉川 芳和

当期の経営成績について

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあって、景気は緩やかな回復基調が続きました。

建設業界におきましては、公共投資はこのところ弱含んでおり、民間設備投資は増加しているものの、労務費や原材料価格の上昇などの影響もあり、厳しい経営環境が続きました。

このような環境の中、当社および当社連結子会社（以下「当社グループ」といいます。）は、各社が有する技術の優

企業理念

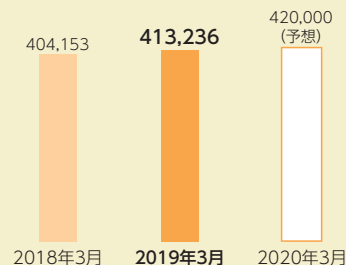
わたしたちは
確かなものづくりを通して
豊かな社会の実現に貢献します

行動指針

- 信頼を築く
- 技を磨き、伝える
- 夢をいだき、挑戦する

連結決算ハイライト

売上高（単位:百万円）



位性を活かした受注活動やアスファルト合材等の製品販売の強化に努めてきました。

その結果、当連結会計年度の売上高は4,132億36百万円(前期比2.2%増)となりました。

利益につきましては、経常利益は390億22百万円(前期比3.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は255億14百万円(前期比4.1%減)となりました。

次期の見通しについて

建設業界におきましては、設備投資は企業収益の改善や成長分野への対応等を背景に増加が続くことが期待され、公共投資の先行きも、補正予算の効果の発現が期待されますが、企業間の熾烈な受注競争のもと、業界を取り巻く経営環境は、引き続き厳しい状況が予想されます。

このような環境の中、当社グループは、技術と経営に優れた企業集団として技術力の向上、営業力の強化、原材料価格への適切な対応に努めるほか、生産性の向上とコスト削減を確実に進め、競争力の強化に取り組んでまいります。そし

第119期 連結業績予想

億円 前期比

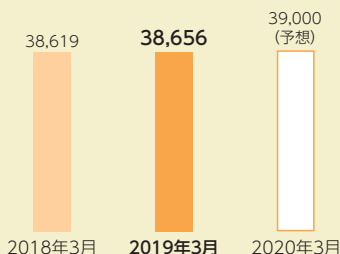
売上高	4,200	+ 1.6%
営業利益	390	+ 0.9%
経常利益	400	+ 2.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	260	+ 1.9%

て、中長期的な経営ビジョンをもって舗装工事、土木工事、製品販売における収益基盤の一層の強化を進めるとともに、建築、開発、海外事業等の事業収益の安定化に努めてまいります。

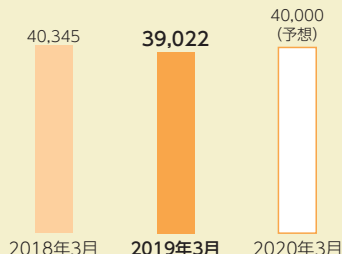
また、「独占禁止法をはじめ、あらゆる法令に違反する行為は絶対に行わない」という組織風土・企業体質を磐石なものとするための取組みを推し進め、全社一丸となって信頼の回復に努めてまいりる覚悟です。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

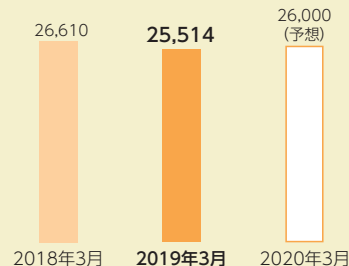
営業利益 (単位:百万円)



経常利益 (単位:百万円)



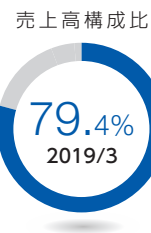
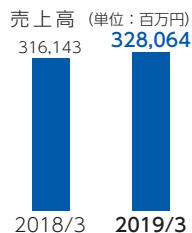
親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)



事業別の概況

建設事業

当社グループは建設業法に基づく国土交通大臣許可を受けた建設業、およびこれに関連する事業を行っています。建設事業は当社グループの主要部門であり、「舗装土木事業」「一般土木事業」「建築事業」で構成されています。



舗装土木事業



事業内容

1934年の設立以来、人や環境への配慮といった視点から、独自の技術を活かした道路舗装土木事業を行ってきました。近年では、交通量の増加や車両の大型化が進み、道路の維持修繕の重要性が一層高まっています。



一般土木事業



事業内容

当社グループは、「土」とのかかわりから培ってきたノウハウを基に、各種土木事業の施工を実施してきました。これからも、自然との融和を図り、大地の有効活用により、ゆとりある快適な環境を創出していきます。



建築事業



事業内容

1983年から本格的に建築事業に取り組み、組織力を活かした総合事業に大きな信頼を寄せていただいております。お客様の要望や現場の状況に応じた綿密なコンセプトづくりから施工、メンテナンスまで、あらゆるニーズに満足していただける快適な空間を提供し続けます。



製造・販売事業



事業内容

道路を舗装するために最も多く使用されている材料がアスファルト合材です。当社グループは全国約160ヶ所にアスファルト合材の供給基地を持ち、当社グループの工事で使用するだけでなく、ほかの舗装業者にも販売しています。また、循環型社会形成のために、舗装廃材のリサイクルシステムを構築し、アスファルト舗装廃材を受け入れて、自社工場で再生・再利用しています。

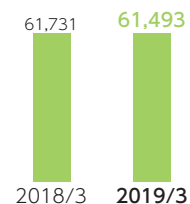
売上高

614億93百万円
前期比 0.4%減 ▼

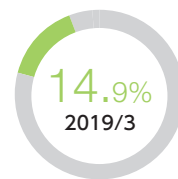
営業利益

106億76百万円
前期比 8.2%減 ▼

売上高 (単位:百万円)



売上高構成比



開発事業



事業内容

当社グループのネットワークとノウハウを活かし、デベロッパーとして安心・快適な街づくりに取り組んでいます。宅地開発・建物分譲事業、マンション分譲事業 (ル・サンク [Le Cinq] シリーズ)、オリジナル住宅事業 (グラチア [GRATIAE] シリーズ)、不動産賃貸事業 (アーバス [ABAS] シリーズ) などを展開し、都心部や中核都市で、安心・快適に過ごせる商品を提供しています。

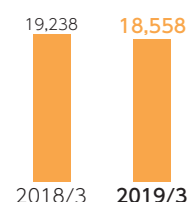
売上高

185億58百万円
前期比 3.5%減 ▼

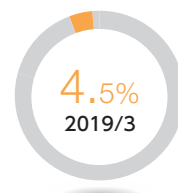
営業利益

31億97百万円
前期比 0.7%増 ▲

売上高 (単位:百万円)



売上高構成比



その他



リゾート事業

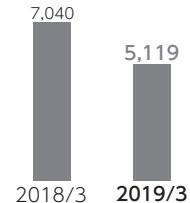
売上高

51億19百万円
前期比 27.3%減 ▼

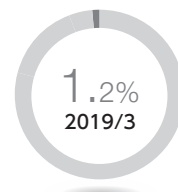
営業利益

6億円
前期比 38.5%減 ▼

売上高 (単位:百万円)



売上高構成比



主要工事

舗装土木事業



舗装補修工事（29-5-1堺）



北海道横断自動車道 小樽東舗装工事

主要完成工事

発注者

東日本高速道路株式会社北海道支社

JXTGエネルギー株式会社

国土交通省関東地方整備局

東京地下鉄株式会社

西日本高速道路株式会社関西支社

工事名

北海道横断自動車道 小樽東舗装工事

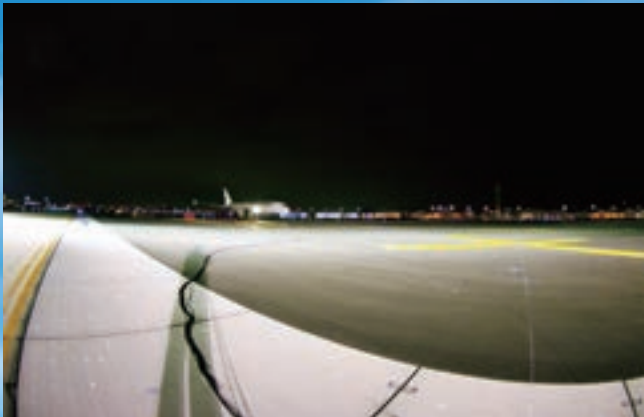
千葉幕張水素ステーション 建設工事（設計・施工）

東京国際空港N地区エプロン舗装等工事

田原町駅改良建築・電気工事

新名神高速道路 神戸舗装工事

建築事業



東京国際空港国際線地区P誘導路他舗装等工事



千葉幕張水素ステーション 建設工事(設計・施工)

主要未成工事

発注者

JX不動産株式会社

東日本高速道路株式会社東北支社

東日本高速道路株式会社新潟支社

岐阜市

中日本高速道路株式会社名古屋支社

工事名

(仮称) 札幌環状通東マンション計画 新築工事

秋田自動車道 横手管内舗装補修工事

上信越自動車道 上越舗装工事

岐阜市新庁舎建築主体工事

新名神高速道路 菰野舗装工事